

令和5年度 第1回福島市男女共同参画審議会 会議録

日 時：令和5年5月19日（金）午後2時～3時30分

場 所：福島市男女共同参画センター 中会議室

出席者：委員10名（横田智史委員、小澤和枝委員、
元井貴子委員、赤間幸子委員、
旗野礼子委員、柳沼靖子委員、
赤間睦子委員、高橋丈晴委員、
横山卓也委員、山内圭介委員）

事務局：3名（総務部長、男女共同参画センター所長、主任）

開会前、委嘱状机上交付

事務局（所長）	開会
総務部長	あいさつ 各委員、事務局より自己紹介 会長及び副会長選出（審議会規則第2条により、委員による互選）
横山委員	事務局案
事務局（主任）	会長に横田委員、副会長に小澤委員を提案
委員全員	異議なし
事務局（所長）	会長、副会長、席移動後にそれぞれあいさつ

○審議事項

（1）男女共同参画ふくしまプランの概要について

横田会長	事務局より説明願う。
事務局（主任）	「男女共同参画ふくしまプラン」にて説明 （質疑応答なし）

（2）令和4年度実施状況及び令和5年度実施計画（暫定版）について

横田会長	事務局より説明願う。
事務局（主任）	資料にて説明 （質疑応答なし）

(3) 令和5年度事業実施計画について ※男女共同参画センター所管事業分

横田会長 事務局より説明願う。

事務局（主任） 資料にて説明
(質疑応答なし)

(4) その他

横田会長 男女共同参画に関して、日ごろ感じていることを各委員より発言
いただきたい(以下、名簿順で発言)

元井委員 法学の視点でジェンダーを取り扱っている。
女子大生は意識づくりが難しいと感じている。
⇒学生時代は男女間の格差を感じることは少ないが、卒業後に男女
平等に関するギャップに悩む生徒が多い。

横田会長 若年層の男女共同参画の意識に関するイメージが反対だった。

小澤副会長 学校教育等はすぐに即効性のあるものではない。諦めずに続けていく
ことが大切である。
⇒団体として、男女共同参画の意識づくりに関する啓発を続けていく。

赤間（幸）委員 地域活動を振り返ると、母と一緒にいる安心感こそ、子どもが心身
ともに成長できる大切な要素であると実感している。

旗野委員 今年度から本小学校に赴任したが、児童から「本物の校長先生は？」
と聞かれた。本小学校では、初の女性校長であるため、児童や地域が
慣れるまで時間がかかると感じた。

柳沼委員 看護業界は女性比率が高い。男性看護師が増えていることは、活性化
のためにも良い傾向である。
患者がLGBTQの場合の対応や産休・育休の取得促進等、社会が
求める働く環境にも対応している。

横田会長 男性だからできることは(力仕事など)

柳沼委員 性別に関係なく、デリケートな点(裸、排せつ等)は、患者から同性
の看護師を希望されることが多い。

- 赤間（睦）委員 農業はまだまだ男性社会であると感じている。
女性の就農家も増えてきているとは聞いているが、JAの管轄外の
活動内容については把握が難しい。
- 高橋委員 市内事業者の経営支援をしている。
直近では創業者支援において、女性からの相談が5件あった。
福島商工会議所においても、近年は女性の採用者数が多い。
- 横山委員 新型コロナ感染拡大に伴う貸付金は、3年間で約5000件だった。
背景にシングルマザーの収入、女性の自殺者、DV、貧困の増加がある
と考えられる。
- 山内委員 男女共同参画の取り組みは継続して行う必要がある。
また、現場の声を上にどうやって伝わっていくか。そういった視点も
大切だと感じている。
- その他
- 事務局（主任） 第2回の審議会は8月に開催予定である。
今回の説明内容について、意見書に記入いただきたい。
⇒質問等については、担当課と確認のうえ別途回答する。
内容によっては次回の議題としたい。
なお、次回の主な議題は以下のとおりである。
①審議会等における女性参画率
②男女共同参画ふくしまプランの成果指標
③男女共同参画に関する意識調査に関する調査項目の検討。
- 総務部長 本審議会の意義と目的を踏まえ、改めてご理解とご協力をお願いしたい。
- 事務局（所長） 閉会